

3000 人の楽しい町

No. 645

町報

こふふ

KOFU

12月

2024

江府町NEWS
動画で見よう！





学園議会

「学園議会」が11月22日(金)、江府町役会議場で開催されました。

奥大山江府学園9年生 17名は5つのグループごとに、自分たちで考えあげたアイデアを、町執行部へ提案しました。

■アントレプレナーシップスクール事業を通じて

これからの時代は、地元で暮らすための仕事を自らがつくっていく時代でもあり、自らの生き方を見つけれられることが重要であると考えます。これらの力を子どもたちが得るための教育(アントレプレナーシップスクール教育)を奥大山江府学園で進めています。

この事業では、一般社団法人「JICの協力のもと、生徒が地元を舞台にイノベーション(未来をつくるアイデア)を創造する教育プログラムに取り組んでいます。「イノベーションにチャレンジする」その頭文字を取って、通称「イノチャレ」と呼んでいます。

その「イノチャレ」では「私たちのアイデアでワクワクする江府町の未来をつくろう」という一貫としたテーマの下、江府町を再度見つめなおすことから学習を始めました。はじめに、江府町に関わるひと、もの、ことへの理解を深めるために、インタビュの方法についてノウハウを学び、町内で活躍している方へのインタビューを行って、気づいたことを整理しました。次に、インタビュでの気づきを基に、江府町の未来について考える学習活動(イノベーションワークショップ)に取り組みました。

イノベーションワークショップは、10月に行った2日間の短期集中プログラムです。アイデアを創出するためのノウハウを学び、メンターと呼ばれる

助言者(役場職員やJICスタッフ)と共に、自分たちが考えた未来をつくるアイデアを練り上げました。



▲イノベーションワークショップの様子

■いよいよ学園議会、開幕

その後、10月に行ったイノベーションワークショップで練り上げたアイデアについて、どのように表現すれば議会でもよりよくわかってもらえるかについて、再度、検討と工夫を重ねました。そして、言葉だけの提案ではなく、スキット(寸劇)を行い、自分たちの考えたアイデアのない未来と、そのアイデアが実現した未来とではどのように違うかを表現することにしました。

「自分たちがワクワクする江府町の未来をつくるアイデア」は、江府町の誰もがワクワクする未来へつながっていきます。

これから、奥大山江府学園9年生の若い議員たちが考えた新鮮な提案をご紹介します。

【質問】 私たちが考えたアイデア名は「ボッチャであそぼっちゃー！」です。これは若年層と高齢層が交流し、絆が生まれ、という未来をつくるために、世代を問わず交流する機会をボッチャ大会という形で設ける、というアイデアです。

私たちはまず、高齢者も若者も参加することができ、一緒に楽しめるものはないか、と考え、ボッチャは体に負荷がかかりにくく、誰でもプレイすることが簡単なスポーツなのでボッチャが良いのではないかと考えました。

普段の生活、特に登下校の時にすれ違う人と挨拶を交わしますが、そもそも接点がないため、それ以上に会話し、仲良くなることができていません。これからは世代関係なく集まることで、お互いを理解し合い、助け合い、楽しく接していくことが必要です。

このアイデアは、年に1回、春にボッチャ大会を開き、参加者が混合でい

問	答
若者と高齢者が楽しく接することができるよう、交流する機会としてボッチャ大会をしてはどうか？	距離を縮めるためのとても良いアイデア。ぜひ、実現してほしい。

1班

『ボッチャであそぼっちゃー！』



質問者
 澤田 花菜乃 議員



▲ 1 班の発表の様子

くつかのチームに分かれボッチャをして遊ぶ、というもので、優勝したチームは江府町産の食べ物などがもらえます。

この「ボッチャであそぼっちゃー！」を実施することで、町民同士の交流が増え、よりあたたかい町になると考えますが、いかがでしょうか。

【町長答弁】 昨年に続き、「高齢者と若者の交流」をテーマにしたアイデアが続き、みなさんが地域の方と一緒に仲良くなり、と思う気持ちがとてもよく伝わってきました。

私もみなさんと通勤・通学ですれ違ふとき、あいさつ程度でそれ以上の会話ができず、もう少し距離が近くなれば、と感じていたので、とてもいいアイデアだと思います。ニーズをしっかりとつかんでいただき、ぜひこのアイデアを

【質問】 私たちが考えたアイデア名は「快適☆セカンドハウス」です。これは、若者が大人になっても江府町に残り続けたいと思えるという未来をつくるために、若者のコミュニティの幅を人と関わることで広げる、というアイデアです。

私たちは、役場の岡田さんと藤原さんへの「保育園らしくない保育園」についてのインタビューを通して、若者や元々江府町に住んでいた人が町を出て行き、人口が減って廃墟や廃校が増え、地域の人の交流も減っているということが分かりました。そこから私たちは若者同士の交流を増やし、江府町に残りたいと思えるような活動、施設が

問	答
若者が大人になっても町に残り続けたいような、快適なセカンドハウスを作ってはどうか？	江尾駅前プロジェクトにぜひ参画いただき、みなさんのアイデアを。

2班

『快適☆セカンドハウス』



質問者
 塩見 莉子 議員

実現してみたいと思います。

【教育長答弁】 みなさんがぜひ交流を深めて実現していきたい、というのであれば、教育委員会としても全面的に協力していきたい。



▲ 2 班の発表の様子

【町長答弁】 現在、江尾駅前に安心してくつろげるような場所を作ろうということでプロジェクトを立ち上げています。みなさんもそういったプロジェクトをやるときに、ぜひかわっていただきアイデアを出していただければと思います。

この「セカンドハウス」という施策を実施することで江府町に遊び場ができ、楽しいと思えることに加え、コミュニティを広げたり、コミュニケーション能力を磨いたりすることが可能になると思われませんが、いかがでしょうか。

できたなら、たくさん若者が江府町に残り続け、町を活性化してくれるのではないかと考えました。

このアイデアは、若者が人と関わり、コミュニティの幅を広げるために、勉強したりゲームしたりできる空間をつくる、というものです。江府町には空き家がたくさんあるので、そういった建物を活用し、第二の家と言えるほどみんなが気軽に楽しめる環境を作り出す。

3班

『GOOD FLOWER賞』



質問者
浦部 響 議員

問 生徒がフードロスの取り組みを認定・発信し、町おこしにつなげるのはどうか？

答 ぜひ、自分たちで環境に対する取り組みの発信を。

※FLOWERはFoodloss（フードロス）Overcome（克服する）Win（勝つ）Expand（広める）Realize（実現する）の頭文字です。

私たちが考えたアイデア名は「GOOD FLOWER賞」です。これは人々がフードロスの取り組みを知って、意識を高め、良かったと思えることが町おこしにつながるという未来をつくるために、江府学園生徒がフードロスの削減に貢献した人たちを認定し、それを町報やホームページやSNSで発信する、というアイデアです。

私たちは江府町だけでなく世界でもプラネタリーヘルスに取り組んでおられる桐村里紗さんへのインタビューの中で、自分たちがフードロスを減らすことが、地球を良くするための最も簡単な方法だ、ということが印象に残りました。

現在、町内では個人や団体がフードロスの取り組みを行っています。あまり知られていません。これからは多くの取り組みを知り、応援し、町おこしに繋げていく必要があります。

このアイデアは、江府学園の生徒がお店や個人などに関係なく、フードロス削減に貢献している人の応募を審査表彰し、認定の証として缶バッジをあげる様子を町報やホームページ、SNSなどで発信します。それにより町内外関係なく多くの人に取り組みを知ってもらい、いずれはフードロス削減の町として名を轟かせる予定です。

この「GOODFLOWER賞」という施策を実行することで、人々が町内のフードロスへの取り組みを理解し、応援する社会の構築に役立つ。そして、取り組みをしている人のモチベーションの向上にもつながると思われ、いかがでしょうか。



▲ 3班の発表の様子

〔町長答弁〕

自分たちで、気づいて考えて実行しようとしているところが本当に素晴らしいと思います。これに「継続する」を加えてサイクルが出来上がるとより素晴らしい取り組みになると思います。フードロスについても深く知ってい

る人は少ないので、江府町はこういう取り組みをして環境を大事にしている、ということを広めていくことは、町の考えとも通じるところがあるので、ぜひ実現に向けてやっていただきたいと思っています。

4班

『自然協生活』



質問者
西田 蒼真 議員

問 野菜栽培・料理を通して、コミュニケーションの輪を広げるのはどうか？

答 せせらぎ公園に足を運び体験を、地域と繋がりそして実現へ。

〔質問〕 私たちが考えたアイデア名は「自然協生活」です。これは地域のひと、小中学生がいつでもコミュニケーションがとれるという未来をつくるために、野菜栽培・料理を通して絆を深めるというアイデアです。

私たちはプラネタリーヘルスを実践されている医師の桐村里紗さんへのインタビューの中で、様々な種類の植物と一緒に育てる協生農法は、肥料無しでも美味しい野菜が育つということが印象に残りました。そこから私たちはプラネタリーヘルスを通して、地域の

人と小中学生がコミュニケーションをとることができるのではないかと考えました。

このアイデアは、江府町の住民の人たちと土から整備し、桐村さんから教わった協生農法という、環境にも優しい栽培方法によって野菜を作り、収穫祭というイベントを開きます。そして、協生農法によって育った野菜を使って、地域のひとと料理をしたり、一緒にご飯を食べたりします。そうすることにより、プラネタリーヘルスと地産地消にもつながり、地域の絆も深まると思います。イベントを通してふれあうことで、イベント後も地域のひとと小中学生のコミュニケーションが増えると思います。

この「自然協生活」という施策を実施することで、地域の人がふれあい、いつでもコミュニケーションをとることができ、それと同時に自然を再生できると思います。いかがでしょうか？



▲ 4班の発表の様子

【町長答弁】

食べるということというのは本当にみんなが好きなことなので、収穫祭を企画すれば一緒にやりたい人は出てくると思っています。

せせらぎ公園では、さまざまなイベントの実施や環境の整備を行っていますので、みなさんもぜひ足を運んでいただき、体験してほしい。地域の方もおられると思いますので、つながりを持っていただき、このアイデアを実現してほしいと思います。

5班

『ネイチャーランド』



質問者
中尾 美咲 議員

問	答
休日に生徒が集まって遊べる屋外施設を作るのはどうか？	現在ある施設を活用し、みなさんのアイデアを。

【質問】

私たちが考えたアイデア名は「ネイチャーランド」です。これは江府町にも遊べる場所があり、楽しく生活できるという未来をつくるために、休日に学生が集まって遊べる屋外施設をつくるというアイデアです。

私たちはプラネタリーヘルスについて、様々な場所で活躍されている桐村

里紗さんへのインタビューの中で、これからの田舎は人口減少を止め、積極的に地域の活性化に関わることが必要だということが印象に残りました。そこから私たちは江府町に住んでいる学生たちが楽しく生活でき、地域の人との交流が増えることが必要だと考えました。

このアイデアは、休日に学生が集まって遊べる屋外施設をつくるというものです。さらに、遊びに来た地域の方との交流も増えます。具体的には、自然を活かしたターザンロープや空中丸太渡り等のアスレチック、豊かな自然を感じながら休むことができるハンモックがあり、キャンプもできます。

この「ネイチャーランド」という施策を実施することで、江府町にも楽しく遊べる場所があり、学生が休日に米子などに行かず江府町で遊ぶことができる。そして、ネイチャーランドに来た地域の方々との交流も増えて充実した休日を過ごすことができると思われますが、いかがでしょうか。

【町長答弁】

江府町、この町そのものが自然であるという感じがして、一か所だけで完結するものではない気がします。せせらぎ公園やエバーランド近辺、現在佐川に整備中の保育園付近などみなさんの周りにそれぞれいい場所があります。そういった場所をうまく活用することを考えてみたかどうか。その中に、みなさんのアイデアを入れていけばいいかと思っています。

一番の課題は、特に中学生、高校生に移動手段がないということ。どうすれば良いのか、今後の課題として考えていきたいと思っています。



▲ 5班の発表の様子

■最後に

どの班もまちの課題と真剣に向き合い、「自分たちでできること」を具体的に考えていました。「江府町をよりよくするために」と考える行動を通じて、また一段と「わがまち」への愛着も深まったのではないのでしょうか。

まちの次世代を担う一員として、今後も様々な形でまちづくりに積極的に参加してくれる姿がイメージされ、江府町の明るい未来が見えるようでした。



除雪作業にご理解とご協力を！

いよいよ冬になりました。町では、みなさんの快適な暮らしを守るため、きめ細かな除雪に努めます。スムーズな除雪作業を行うためには町民のみなさんのご理解とご協力が必要です。一人一人が生活や交通のルールとマナーを守り、安全な冬をすごしましょう。

残雪処理にご協力を！

除雪車が通った後、玄関先などに除雪した雪が残ることがあります。除雪車は限られた時間で広い範囲を除雪しなければなりません。玄関先や車庫前などは各家庭で除雪をお願いします。また、防火水槽等の消防設備やごみ集積場の周りも集落の皆さんで除雪をお願いします。

路上付近の駐車は止めましょう！

路上や歩道に車両が駐車されていると除雪作業ができません。救急車など緊急車両の通行の妨げにもなりますので、路上付近の駐車は絶対にしないでください。

路面状況に応じた運転を！

気象や路面状況に応じた安全運転を心がけてください。特に日陰やカーブ、橋の上、下り坂などは注意し、時間に余裕をもって運転しましょう。

除雪車に近づかないで！

作業中の除雪車に近づくことは大変危険です。運転席から見えないこともあります。絶対に近づかないでください。

■除雪作業について■

除雪は、積雪がおおむね15cm以上になった場合、または区長あるいは役場から依頼があった場合に出動します。

特に、早朝の除雪作業は、除雪業者の自主判断でいつ降るかわからない雪に備え、明け方よりまたは昼夜関係なく過酷な作業に就かれます。

除雪作業について皆さんのご理解とご協力をお願いします。

※吉原御机線（須郷～御机間）は冬季閉鎖します。

■俣野線の除雪について■

県道上徳山俣野江府線の深山口から武庫間の除雪は、鳥取県が除雪業者（㈱リープ）に委託し、除雪作業を行っています。早朝の除雪は、バスの始発及び朝の通勤時間まで間に合わせるように、作業を開始して、除雪作業を行います。また、降雪状況等により、夕方の帰宅時間に間に合わせて、除雪及び拡幅除雪を行います。原則として、夜間の除雪作業は行いません。

【問い合わせ】

日野振興センター日野県土整備局

《平日の連絡》(8:30～17:15)

電話 0859-72-2048

《それ以外の夜間や休日の除雪に対する連絡》

電話 0859-72-0321

をお願いします。

■冬に備えよう～水道～■

毎年、凍結による水道管破裂が多発しています。

本格的な寒さが来る前に、屋外にある水道管の保護・保温を行いましょう。

例1：水道管に布を巻き外側をビニール袋等で覆う。

例2：氷点下が予想され場合は、末端で糸を引く程度の水を出して凍結防止する。

※水を出し過ぎると水道料金も増えますので、適度な水量を心がけましょう。

水道管が破損したら、町に登録している水道業者に依頼してください。

水道業者は、町のホームページに公開しています。

※業者によって料金等が違いますので、事前に確認・相談しましょう。

ご不明な点は産業建設課Tel75-3306まで、お願いいたします。

■除雪（県道を含む）、水道に関すること・・・江府町役場産業建設課
(電話75-3306)

■雪害への備えや相談などに関すること・・・江府町役場総務課
(電話75-2211)

住民生活課（本庁舎）の証明書窓口について、時間短縮を試行します

住民生活課 ☎0859-75-3223

住民生活課（本庁舎）の下記業務について、令和7年1月から同年3月までの間、窓口対応時間の短縮を試験的に実施いたします。

皆さまにご不便をおかけする場合がありますが、ご理解とご協力をお願いします。



証明書発行



	変更後	変更前（現行）
窓口対応時間	平日 8:30 ～ 17:00	平日 8:30 ～ 17:15

【 対象とする業務 】	
証明書発行	戸籍、住民票、印鑑登録、税務、町営住宅家賃証明
届出	住民基本台帳、印鑑登録、税務申請、各使用・登録申請（お試し住宅）
保険証等の発行	国保・介護・後期・特別医療の証発行、パスポート交付、町営交通定期券発行
各販売	町指定ごみ袋、町営交通回数券

（理由）

江府町役場の窓口開庁時間は職員の就業時間と同じ時間になっています。

当該業務は、多種のコンピューターシステムを使用して公金も扱っており、証明書から各届出受付など幅広い業務を行っていますので、就業終了後の片付けには時間を要し、さらに対応後の職員間の情報連携など、職員のサービス残業が常態化しています。

昨年度からは、コンビニ等キオスク端末からの証明書発行サービスを開始しており、証明書に関する来庁者は減少傾向にあることや、昨今の労働者に対する改善傾向を考慮し、行政窓口の効果的な短縮を行うことで、より良い行政サービスを目指します。

（今後の予定）

令和6年度（1月～3月）は試行期間とし、年度末に検証したうえで令和7年度から正式実施とする予定です。

※試行期間中に住民希望や問題が多発した場合は、短縮することを中止します。

※11月26日に開催を予定していました意見交換会については参加申込者がなかったため中止といたしましたが、本内容について賛成する住民さんのご意見を1件いただきました。ご協力ありがとうございました。

年末年始の閉庁・休館・休業について

	～12/27 (金)	12/28 (土)	12/29～1/3 (日)～(金)	1/4 (土)	1/5 (日)	1/6～ (月)～
江府町役場、総合健康福祉センター、教育委員会、リサイクルプラザ、いづはら	○ 通常	× 閉庁	× 閉庁	× 閉庁	× 閉庁	○ 通常
愛ベルこうふ(防災・情報センター)、町立図書館	○ 通常	○ 通常	× 休館	○ 通常	○ 通常	○ 図書館のみ 休館
江尾診療所	○ 通常	○ 通常	× 休診	× 休診	× 休診	○ 通常

【その他】江府町運動公園(12/29～1/5 休館)、桜の苑(1/1、2 休業)、町営交通【バス】(12/31～1/3 休業)

※年末年始のゴミ収集は、分別カレンダーをご覧ください。

※役場では、閉庁時でも戸籍に関する届出(死亡届、結婚届等)を受理します。

歯科口腔外科の診察券が変わります！

江尾診療所 歯科口腔外科 ☎0859-77-2345

12月から、江尾診療所歯科口腔外科の診察券が変更になります。

新しい診察券とともに、お口の中の健康についても、よりいっそう意識をしていただけたらと思います。

古い診察券をお持ちの患者の皆様には、順次、新しい診察券に変更させていただきますので、ご承知願います。

これまでのカードは紙

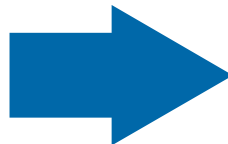
歯科診察予約票

No. _____

様

江府町国民健康保険
江尾診療所

〒689-4401
鳥取県日野郡江府町大字江尾2088-3
TEL(0859)77-2345



新しいカードはプラスチック

診察券

江府町国民健康保険
江尾診療所 歯科口腔外科

〒689-4401鳥取県日野郡江府町大字江尾2088-3
TEL(0859)77-2345
電話連絡のうえご来院ください

予約制

診察時間	月	火	水	木	金	土	休診
9:00～13:00	●	●	●	●	●	●	●
14:00～17:00	●	●	●	●	●	●	●
17:00～19:00	●	●	●	●	●	●	●

※土曜日は第2、第4のお診療

木曜午後
第1・3・5土曜
日曜、祝日

様 No. _____

診察予約

月	日	曜	時間	月	日	曜	時間
			:				:
			:				:
			:				:
			:				:
			:				:

裏面に予約日を記載します

▲注意▲

破損や紛失には、くれぐれもご注意ください。

宝くじのコミュニティ助成事業で除雪機購入 ～宮市集落～

住民生活課 ☎0859-75-3223

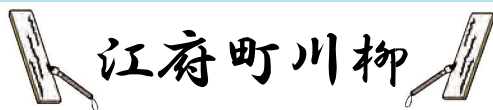
一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として、地域活動の充実・強化を図ることを目的とした「コミュニティ助成事業」を行っています。

今月は宮市集落をご紹介します。

宮市集落では、この助成事業を活用し、除雪機2台を整備しました。

降雪時、歩道には除雪された車道の雪が積み上がり、手作業で頻繁に除雪をしていました。

今回、除雪機が設置されることにより、除雪の負担が大幅に減り、集落住民が安心して過ごしやすいとなるとともに、より安全な子どもの通学路としても期待できます。



江府町川柳

川面には
紅葉映して
秋日和

PN: 木谷溪流へ観光

稲穂揺れ
黄金の波が
風に舞う

PN: 米大好き

秋どこ行った
なかなか色つかない
イチヨウ並木

PN: 秋の訪れさん



お問い合わせ先
江府町役場総務課
広報担当まで
0859-75-2211

川柳応募フォーム

「江府町戦没者追悼式」 ～平和への祈り～

住民生活課 ☎0859-75-3223

令和6年11月1日(金)、江府町役場本庁舎で「令和6年度江府町戦没者追悼式」を行いました。御遺族の皆様をはじめ約40名の方々に参列いただきました。

当日は祖国の安寧を願いながら、戦禍の犠牲となられた御英霊の追悼と御遺族の皆様の長年の辛苦に敬意を表し、303柱の御霊の前で黙とうのほか、恒久平和の実現を祈念し白色のカーネーションを手向けました。



町内企業求人情報について

江府町商工会事務局 ☎0859-75-2333

事業者名	介護老人保健施設 あやめ
事業所住所	江府町武庫 475
採用担当者名	法人本部 内田(うちだ)
連絡先	電話 (0859-72-3210)
募集人数	1名
業務内容	入浴介助
勤務時間	13:00～17:00(応相談)
待遇(その他)	時給 1,010円～1,070円

第50回江府町人権・同和教育研究集会兼奥大山江府学園PTA人権講演会

11月16日(土)に第50回江府町人権・同和教育研究集会兼奥大山江府学園PTA人権講演会を昨年度に引き続き、奥大山江府学園ブナの森校舎の体育館で開催しました。

第1部は、主催者として白石会長のあいさつがあり、来賓の大森英一氏(部落解放同盟鳥取県連合会執行副委員長)からは、「日本の同和問題や夫婦別姓等の、人権問題が今、国際問題になってきており、日本の人権感覚が試されている。日本は、結婚は家と家が行うという認識が強く、同和問題や夫婦別姓を認めないことにつながるなどのタブー視する風潮を改めていき、もう一歩踏み出さなければならぬ。」と参加者へ強い思いを伝えるあいさつをいただきました。その後、同推協の企業部会長祇園崇広氏が、集会宣言と基調提案を読み上げられ、拍手多数で賛同いただきました。

そして、「実践報告」では、介護老人保健福祉施設あやめの人権・同和教育の取組について生田大河氏による報告が行われました。生田氏は、「今年度、県の研究集会に参加し、人権・同和問題について学びました。その学習を活かし、利用者への声掛けや、施設職員への人権啓発を行っており、今後もより良い施設づくりに活かしていきたい。」と決意を述べられました。

その後、児童生徒が合流し、「人権・同和問題」啓発標語の優秀作品の表彰を行いました。第2部では、「トーク&コンサート」あなたは、あなたでいいじょうぶ」と題して、染矢敦子氏(うたびとノシンガーソングライター)の講演を聞き

ました。

染矢さんは、会場の子どもたちに「自分の事は好きですか?」と問いかけられ、「好きじゃない」という言葉が返ると、「自分も子どもころは、自分が好きではなかった。しかし、ある友達との出会いで変わることができた。その友達に『あなたの気持ちが分からない』といわれ自分のことを相手に伝えることが出来ていないことに気づき、そこから、自分の気持ちを相手に伝えるようになった。『ありがとう、大好き、頑張ったね』などプラスの言葉を使っていると、徐々に自分の気持ち前向きになって自分を好きになつていく。でも、自分を追い込むほど頑張りが過ぎないでね。」と話されました。「ありがとう」「大好き」などの言葉が入った歌と一緒に歌ったり、歌に合わせてダンスをしたりして会場が一体となりました。

最後に、「人権は、他者を大切にす

だけでなく自分も大切にすることだと思ふ。皆にもちよつとずつ自分を好きになつてほしい。」と語られました。

【集会宣言】

- 1、本日の研究集会の成果をそれぞれの家庭・地域・職場に持ち帰り、話し合いの輪を広げ、町民総ぐるみで学習と実践を深めよう。
- 2、自分自身の内にある差別意識を見つめなおし、身近にある差別を点検して、一人一人が自分自身の問題として自覚し、差別意識の解消を図ろう。
- 3、身近なことから差別をなくしていくための実践的な取り組みを推進し、社会の中にある不合理を無くし「人権文化の町づくり」の輪を広げよう。
- 4、「江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例」を町民一人一人のものにするためにさらに学習を深め合おう。
- 5、人権・同和問題の早期解決と差別のない民主的社会的実現に向けて、人権政策確立のため実効のある人権侵害救済機関「人権委員会設置法」の制定に向け、町民挙げての取り組みを推し進めよう。

第28回「人権・同和問題」啓発標語受賞者

奥大山江府学園

★日野川校舎

【最優秀賞】

9年 伊達 月咲さん

【優秀賞】

6年 貝原塚友翔さん

7年 佐々木彩加さん

8年 加藤亜美香さん

★ブナの森校舎

【最優秀賞】

3年 磯江 美咲さん

【優秀賞】

1年 川端 音葉さん

2年 船越 真緒さん

4年 浦部 翔平さん

5年 船越 悠真さん



**日野ユニテッドスターズ
大谷弥寿（おおたにみこと）さん**
「NPB12球団ジュニアトーナメントKONAMI CUP 2024」第20回記念大会へ出場！

日野郡の児童で構成される日野ユニテッドスターズに所属する大谷弥寿さん（奥大山江府学園6年）が「NPB12球団ジュニアトーナメントKONAMI CUP 2024」第20回記念大会へ（12月26日～29日、明治神宮野球場・ベルーナドーム）に出場します。この大会は一般社団法人日本野球機構とプロ野球12球団が連携し、「子供たちが、プロ野球への夢」という目標をより身近に持てるように」という考えのもとに企画され、今年で20回目の開催となります。

大谷さんは約300人が応募した阪神タイガースジュニアチームのセレクションを見事に通過し、この大会に臨みます。優勝を目指して頑張ってください！



第63回江府町卓球大会 （地域の部）の結果について

令和6年11月10日（日）に町民総合体育館にて「第63回江府町卓球大会（地域の部）」が開催されました。
団体の部、各個人の部ともに白熱した試

合が繰り広げられ、大変盛り上がりのある大会となりました。
結果は次の通りです。

- ・団体の部
優勝 サン振興おいしい水チーム
- ・シングルスフリーの部
優勝 濱崎 歩さん
- ・男子成年の部
優勝 野口信也さん
- ・女子の部
優勝 濱崎 歩さん
- ・ダブルスの部
優勝 松澤勢児さん
福田 学さん



ボッチャ体験から人権を学ぶ

第4回人権・同和教育講座「たんぽぽ学級」を11月24日（日）に江府町役場で開催しました。

「ボッチャを体験してみよう！」体験から学ぶ人権」と題して鳥取県ボッチャ協会の後藤選手など3名をお迎えし、ボッチャの体験を行いました。

後藤選手は、車椅子から「ランプ」と呼ばれるボールを転がす滑り台のような器具を使って投げられ、素晴らしいコントロールのミラクルショットを見せてくださいました。参加者も敵味方関係なく戦略を相談したり、和気あいあいとゲームを楽しむことができました。最後にボッチャ協会の後藤選手から、「ボッチャは、障がいがある

なしにかかわらずで、子どもから高齢者までだれもが一緒に楽しむことができます。今日は、敵味方関係なくコミュニケーションをとることができていたので嬉しかった」と話されました。



第39回人権啓発研究集会で 人権について学習してみませんか？

奈良県橿原市を会場に第39回人権啓発研究集会が開催されます。町では、住民の皆様に学習の場をもっと広げていただくため、研究集会に参加いただける方を募集します。ぜひ、ご応募ください。

応募期間

令和6年12月19日（木）
～令和7年1月14日（火）

募集人数

1名
令和7年2月4日（火）
～5日（水）

開催会場

奈良県橿原文化会館
かしはら万葉ホール
江府町人権文化センター
（電話：7512624）

連絡先



町のホームページ
に開催要項を掲載
しています。

※詳しくは、江府町人権文化センターまで
お問い合わせください。
※参加費、旅費（交通費・宿泊費）は町が
負担します。

1年生
『サラダでげんき』



スローガン
「**活気**」

2年生
『はたけの下は大さわぎ』



輪

3年生
『ヒュードロンお化け学校』



4年生
『真夜中のサンタクロース』



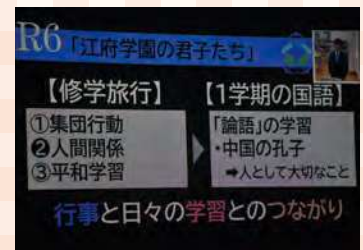
5年生
『The Big Turnip』



吹奏楽部
演奏



6年生
『奥大山江府学園の君子たち』



生徒会企画



7年生
『ハロウィン・ラプソディ』



8年生
『才能屋』



英語暗誦・弁論



校舎合唱



9年生
『ラストチャンスは二度やってくる』



～江府町ふるさとバスツアー～

ブラチロル in 江尾・明倫 vol.3

ふるさとバスツアーブラチロル ～江尾・明倫編～

江府町の自然や歴史、文化に触れたり、施設を見学したりする企画「ブラチロル」。今年度は、一昨年度の俣野編、昨年度の米沢編に続いて、11月11日（月）に江尾・明倫編を行い、児童18名が参加しました。

はじめに、山道を1時間ほど歩き、県指定天然記念物である洲河崎のカツラの木を見に行きました。たたら製鉄が盛んだったころ金屋子神が宿る木として信仰され、現在も大切にされている木です。天空に向かってそびえたつ大きな木に触れ、自然のパワーを感じました。次に、県内唯一の石造建築であり、国の文化財にもなっている旧江尾発電所を見学しました。

午後からは、チロルの里水処理センターを訪問し、普段は見るできない施設を興味深く見学しました。日野川沿いの江尾地区・川筋地区から排出された下水が、微生物の力によってきれいな水になっていく過程を教えてくださいました。

その後は、柿原地区でグループごとにウォークラリー。高森神社の階段の数を数えたり、竹炭がまの中に入ってみたり、季節間分校を見学したりしながら、チェックポイントでのクイズに挑戦しました。最後は、柿原活性化センターで子どもも大人も玉入れ競争！さまざまな場所を訪れ、充実した1日になりました。



桂三枝さん「いらっしゃ〜い」のポーズで！
洲河崎のカツラの木



Q 高森神社のなが〜い階段！
さて何段でしょう？



Q 竹が炭になるまでどれくらい
かかるでしょう？



水処理センターでは、
微生物の力で
下水をきれいにしています。



いちごチーム
がんばれー！

玉入れ競争！
いちごチーム（子ども）
VS
おとなチーム

01 トライアスロン大会報告

アスリートの金澤純さんが、ハワイで開催された世界最高峰のトライアスロン大会の出場報告に来られました。大会の3か月前にケガをされ、最悪の結果になった金澤さん。今後、コンディションを整えて再チャレンジすることを決意表明されました。



02 子供の国保育園 秋季火災予防運動

11月15日（金）に子供の国保育園で全国秋季火災予防運動に関連した行事が行われました。園児たちは避難訓練を行い、園庭に出て先生と一緒に消火器の使い方を学びました。また、遊戯室では消防団の女性隊員が「ぼうさいダックカード」を使い、災害時にどのように行動すべきかを子どもたちに遊びながら教えていました。

その後、年長児たちは拍子木を持ち、法被を着て、町内を元気な声で歩きながら火災予防を呼びかけました。



03 江府町文化祭2024

11月2日（土）～10日（日）江府町文化祭2024が開催されました。期間中は町内の会場で展示が行われ、11月9日（土）には、日野川校舎の多目的ホールで舞台発表が行われました。

町内のクラブや教室の活動を発表できるため、出演者は日頃の成果を十分に発揮し、会場は声援、拍手などで賑わった一日となりました。



04

森の教室 IN 子供の国保育園

11月20日(水)、子供の国保育園で「森の教室」が行われました。

森の教室とは幼稚園・保育園を通じて園児と一緒に、未来へつなぐ「どんぐりの苗木」を育て、育った苗木を植樹していくという活動で、園児たちが森林との関わりを持ち関心を持ってもらう活動です。

森のキャラクター「どんぐりくん」と「ふぁみたん」が登場し、一緒に森の大切さを学びました。クイズ形式で楽しく森について勉強し、みんなでダンスをし、子どもたちは楽しそうに参加していました。活動の最後には、どんぐりをプランターに蒔き、「大切に育てていきます」と宣言しました。この経験を通じて、子どもたちは自然の大切さを感じたようです。



江府町地域おこし協力隊通信



かねこ よしかず
金子 与志一
奥大山
YouTuber



かどた ひょう
門田 表
奥大山
パークレンジャー

「町報こうふ」で始まった川柳の募集人？川柳って？若人には馴染み薄いかな…日本人に馴染み深い5・7・5の言葉遊びですが、季語がなくても夏井先生に怒られない、ほぼほぼルールなしで面白さ重視！ドーンとご投稿ください！
あっ…お題あった方がいいです？
あっ…江府町 NEWS 観てください！



チャンネル登録してね！



川柳募集中！

江府町の地域おこし協力隊のパークレンジャーとして、日々様々なことを学ばせていただいています。思い返せば、約10年前にピースポートへの乗船をきっかけに環境問題に関心を持つようになりました。その頃から江府町の大河原で百姓をしていた祖父母の姿がとてまかつよく見えて、自分もいつか米や野菜が作れるようになりたいと、百姓に憧れるようになりました。

自分たちの命、お米や野菜を作るために必要な水や空気、それらの源である自然環境を未来へ繋げるために大切にし、伝え続けていくものだといふ日々の活動から感じています。

非農地の申請の手続きについて

農業委員会では、農地の利用状況調査から、現況が山林、原野となっており、今後農業上の利用が見込めない農地について非農地として認定しています。

認定には、過去10年来、農地として利用していないなどの条件の他に、農業委員会での認定のための手続きが必要となります。

非農地認定となった農地については、農業委員会から非農地通知等を行いますので、許可後に鳥取地方法務局米子支局で地目変更等の手続きをすみやかに行っていただくこととなります。

非農地の認定については、お近くの農業委員、農地利用最適化推進委員、または農業委員会事務局にお問い合わせください。

農地の貸し借りについて

令和5年4月から「農業経営基盤強化促進法」の改正により、中間管理機構を貸し手と借り手の間に介して（経由して）貸借の契約を結ぶ方式に統一されています。賃借料のやり取りに関しては、機構の仲介か貸し手と借り手が直接行うか、選択できるようになっています。相対契約（貸し手と借り手が直接契約を行う）も経過措置で令和7年3月までできますが、その後、令和7年4月からは中間管理機構を介する方式に統一されます。

農地の貸し借りの手続きに関して詳しいことは、江府町産業建設課で行っていますのでお問い合わせください。 ※産業建設課 電話 0859-75-6610

12月の農地相談会

売買、相続、転用など農地に関することは、お気軽に相談ください。

◎日時：12月26日（木）午後1時30分から3時30分

◎場所：江府町役場本庁舎1階 相談室1

※事前申し込みをお願いします。お近くの農業委員・農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局にお問い合わせください。

農業委員会総会 （12月10日（火）開催）

以下の審議案件はすべて承認されました。

農用地利用集積等促進計画（案）について・・・30件

非農地証明について・・・・・・・・・・・・・1件

農地法3条の規定による許可申請について・・・2件

【問い合わせ】江府町農業委員会事務局 電話：0859-75-6620

日野郡の特産野菜を栽培してみませんか？

白ネギ・ピーマン・ブロッコリーの新規栽培者を募集中!!

★各品目の共通点

- ・JA生産部加入で適宜栽培指導があり、販売先は確保済み
- ・販売価格低下時の補填制度あり

★各品目のメリット・デメリット

○各品目の作型

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
白ネギ （夏どり）	●	●		▲	▲				■	■		
白ネギ （秋冬どり）			●		▲	▲				■	■	
ピーマン			●			▲	▲	■	■	■		

	労働時間	粗収益	メリット	デメリット
白ネギ	500時間/10a	約100万円/10a	収穫適期が長く、自分のペースで作業が可能	除草作業が重要だが大変 出荷調整作業に最も時間がかかる 個別選果では皮むき機が必要
ピーマン	700時間/10a	約150万円/10a	初期投資が少なく、女性や高齢者でも取り組みやすい	収穫調整に時間がかかるため、 大面積での栽培は難しい

栽培してみたいけど不安・・・

日野郡就農セミナー（毎年10月ごろ）での栽培基礎の開催や、各種講習会や巡回指導で適期管理ができるようサポートします。栽培してみたい！詳しく知りたい！という方は、是非ご連絡ください。

【問合せ先】

日野農業改良普及所 (72-2025)

南部伯耆日野営農センター (62-0511)

江府町産業建設課 (75-6610)

ほけレポ

保健レポート vol.57

～“まめ”にいかいや！江府町～

- ・まめ＝元気という意味。
- ・保健師、管理栄養士、健康運動指導士が毎月、いのちと健康を守るための情報をお届けします。

令和5年度の特定健診受診率が鳥取県1位になりました！

今年度も夏と秋の住民健診も無事に終了し多くの方に受診していただきました。令和5年度の江府町の特定健診の受診率は60.9%と他の市町村より群を抜く勢いで県下1位になりました。国保の方だけでなく後期高齢者の健診もたくさんの方に受けて頂きました。

住民健診結果説明会を開催します！

さて今年度も最後の住民健診結果説明会を12月17日に実施します。住民健診結果説明会では、保健師、管理栄養士を中心に各集落の集会所を回り、健診を受けられた住民さん一人ひとりに結果をお渡ししています。そして、過去の結果と比較しながら

健診結果の見方を説明し、ミニ健康教育を行い生活改善へのアドバイスなども行っています。そして、健康手帳を毎年持つてきていただき、健診結果を手帳に貼り、いつでも見返せるようにし、日々の定期受診にも役立てて頂けるよう活用していただいています。



▲住民健診結果説明会の様子

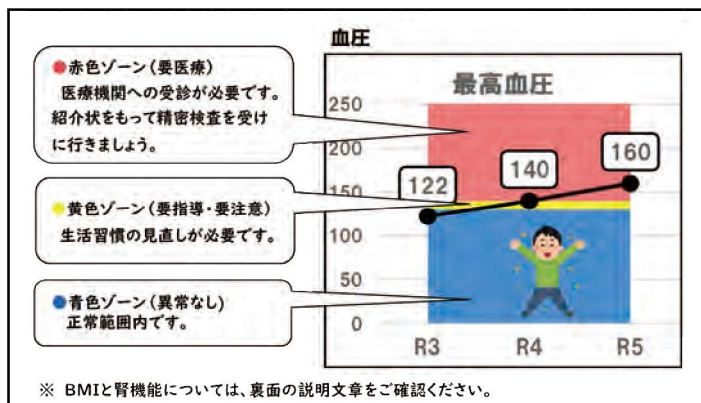


▲健康手帳

結果はどう変化しているかに注目しましょう！

住民健診の結果返しは、結果

用紙とは別に、直近3年間の皆さんの結果をグラフにして封筒に入れていきます。



3年間の結果グラフは、要医療の赤ゾーン、要指導・要注意の黄色ゾーン、異常なしの青ゾーンに分かれています。今回の結果だけを確認しがちですが、肝心なのは、3年間で結果がどう変化していったかということです。3年前は青ゾーンにいたのにだんだん赤ゾーンに向かってグラフが傾いている方は今後病気になるリスクが高いといえますし、逆に赤ゾーンにいた

項目がだんだん青ゾーンに傾いている方は、今の生活習慣がよい結果に影響しているかもしれません。

紹介状が出た方は、必ず精密検査を受けましょう



健康診断は受けた後の行動が一番重要です。「病気が見つかるのが怖い」「時間がない」など、精密検査に足が向かない理由は人それぞれあると思います。ですが、「生活習慣を改善する」「精密検査を受けに行く」など、自分の将来の健康を決めるのは健診後の行動にかかっています。せっかく受けた健康診断を受けっぱなしの健康診断にならないようにしましょう。精密検査になったから必ず病気になるという意味ではありません。精密検査を受けて「異常なし」と判定されることも珍しくありませんので気負わず、まずは必ず受診をしましょう。

【お問い合わせ・ご相談】
江府町総合健康福祉センター
☎0859-756111

「不易流行」

よく伝統を守りながら(不易)

進歩に目を開きさないこと(流行)によって

「理想」を創造する

「台湾で江府町をPR」

江府町長になって初めての海外出張が、11月2日から5日にありました。日野郡三町連携によるもので、昨年1月27日に日野郡産業振興大会が江府町役場で開催され、株式会社裕源の謝明達社長が来られていたのがきっかけです。

日野郡の産品を裕源が関連する台湾の高級スーパー裕毛屋で販売する。いわゆる海外への販路開拓です。このスーパーの利用者は富裕層が多く、実際に今回の店頭販売では奥大山の水洗い珈琲豆(現地価格4000円)を6点まとめでお買い上げになった方もあったようです。店内を見渡すと500mlペットボトルのミネラルウォーターが1本500円近くで販売されていました。

さっそく謝明達社長にお話しして、株式会社江府町地域振興の製

これまでのコラムはこちら!



これまでのコラムはQRコードを読み取ることでご覧いただけます。

品の取り扱いができないかどうか話してみました。すぐに担当者から見積書も含めた資料提出の依頼がありました。この案件が直ちにビジネスにつながるかどうかはわかりません。ただ、今回出品された奥大山の水洗い珈琲は取扱されることが決まりました。

謝明達社長が我々訪問団にされたお話の中に、「ものは飾って売るのではなく、語って売る」というものがありました。待っていて何も起きません。自らが行動を起こすことが先決ではないでしょうか。海外に限らず、江府町内の事業者のみなさんが、積極的にチャレンジされるきっかけを町として作っていききたいと思います。



こうふレシピ

奥大山江府学園 栄養教諭 石原由喜子

魚(特に青魚)は肉と比べて、血液をサラサラにするといわれるEPAやDHAといった良質の油脂を多く含みます。よい香りのする材料を組み合わせ魚を焼くので、魚の生臭さが苦手な方でも食べやすい料理になっています。



「魚の香草パン粉焼き」

★材料★ 5人分

魚の切り身	40 ～ 50g 5切	
	ハマチ・サゴシ・サバ・サケ等	
A {	食塩	少々
	こしょう	少々
	にんにく	1 かけ・・・みじん切り
	レモン果汁	小さじ 1
小麦粉	大さじ 1	
オリーブ油	大さじ 1 と 2/3	
B {	パン粉	1/2 カップ
	バジル粉	少々
	パルメザンチーズ	小さじ 1

★作り方★

- ①魚の切り身にAで下味をつける。(時間があれば、10～30分置いてなじませる。)
- ②①に小麦粉を全体につけ、更にオリーブ油をからめる。
- ③Bを混ぜて、②にしっかりとつけ、アルミホイル等の上にのせる。
- ④オーブントースターで10～15分焼く。(途中で焦げ付くようなら、アルミホイルをのせる。)

●調理のポイント●

レシピのように丁寧に作るときれいに仕上がりますが、Aと、小麦粉、オリーブ油を混ぜたものを魚にからめてから、Bの衣をつけるようにすると、工程が減って作りやすくなりますよ。

●Unique Traditions

Kumusta! We're almost at the end of the year. People in the Philippines have been preparing for Christmas since the start of September! But before we discuss Christmas, let's look at some unique traditions in the Philippines. The first tradition I'd like to introduce is singing. Filipinos love to sing. They have an incredible ability to sing along with people by adding another layer of voice to the song. According to an interview, three out of five Filipinos can sing, while one out of five Filipinos can play the guitar. But why are they so good at singing? During the old times, Filipinos had ancient singing traditions. They told histories and legends through singing and chanting. Because of this, Filipinos have developed a natural talent for singing. The second tradition I'd like to discuss is "pakikisama". Its meaning is "to go with someone" or "to ask someone to go with you." Filipinos value cooperation and being part of a community. However, unlike in other countries, they respect each other's space and boundaries. People like to see what you can do and, if possible, help the community by sharing your skills. You can help others without becoming exploited. You help the community in your own way, not how the community expects you to help. While this may appear to be in contrast to traditional forms of cooperation, Filipinos believe that the community can only improve if people can work with others in a way they are not exploited and have the freedom to choose how they want to help. This creates an environment where people are not forced to do something for the whole group.



ヨシ先生の動画はこちらから



●フィリピンの伝統

カムスタ！年の終わりが近づいて来ましたね。フィリピンの人々は9月初旬からクリスマスの準備をします。今回はフィリピンのユニークな伝統をいくつか紹介したいと思います。

1つ目の伝統は「歌」です。フィリピン人は歌うのが大好きで、皆で一緒に歌うことがとても上手です。ある調査によると、フィリピン人の5人に3人は上手に歌を歌うことができ、5人に1人はギターを弾くことができます。なぜ彼らは歌うのが上手なのでしょう。その昔フィリピン人には古代の歌の伝統がありました。彼らは歌と詠唱を通して歴史と伝説を子孫たちに語り継いでいったのです。このため、フィリピン人は自然に歌が上手になったといわれています。

2つ目の伝統は、「パキキサマ」です。その意味は「誰かと一緒に行く」または「誰かに一緒に行くように頼む」です。フィリピン人は、他者に協力することと自分がコミュニティの一員であることを大切にしています。しかし、彼らはお互いの個人的な部分とその境目を尊重します。フィリピン人は、各々の出来ることをコミュニティ全体で共有することで助け合います。そうすることで特定の誰かが過度な負担を負うことなく、各々の自由な方法で他者を助けることができるのです。フィリピン人は、誰かが搾取されない方法で他者と協力し、どのように助けたいかを自由に選択できるということが、自分のコミュニティをより良いものにすることができると信じています。このようにすることでフィリピンでは人々がグループ全体のために何かをすることを強制されない環境が生まれます。



江府町立図書館の本棚 「こんな本あります！」

監修：江府町立図書館館長 宇田川 恵理

こんにちは！江府町立図書館の宇田川です。江府町立図書館の本棚にある、ちょっと気になる「こんな本」を紹介していきたいと思っています！



『鋼の錬金術師 1～27巻』 荒川弘著（スクウェア・エニックス）

2001年から2010年にかけて連載され、絶大な人気を誇ったマンガシリーズです。アニメ化・映画化された名作マンガですが、全27巻を通して読んだ方は意外と少ないかも。

この度図書館では、マンガ購入のための人気投票を実施したのですが、『鋼の錬金術師』は、連載終了後14年たったにもかかわらず、堂々3位に入りました。1位『SPY×FAMILY』2位『葬送のフリーレン』ともども、図書館で購入し、貸出を始めています。

錬金術が発展した世界。幼いながら優れた錬金術の才能を持ったエドワードは、亡き母を蘇らせるため、禁じられた人体錬成を行います。しかし、錬成は失敗、弟アルフォンスの体と自分の右手・左足を失ってしまいます。鉄の鎧に魂だけが残った弟と鋼の手と足を持つ兄は、失った体を取り戻すために、「賢者の石」を求める旅に出ます。やがて、物語は、国家を揺るがす陰謀へとつながっていく一方、2人の知られざる秘密も明らかになり、読み始めたらずまらないこと請け合いのシリーズです。ぜひ、初めての方も、しばらくぶりという方も、図書館で手に取ってみてください。

「100年持続可能な学びとは？」

11月17日(日) 日野高校魅力向上推進協議会・日野郡ふるさと教育推進協議会主催「協働シンポジウム」で「持続可能」な学びを100年先に伝承する」が開催されました。島根県津和野町から地域で「学びの場」を提供している一般財団法人「つわの学びみらい」と一般財団法人「津和野まちとぶなか創造センター(TMC)」を招いて、基調講演とトークセッションが行われました。

「つわの学びみらい」は、「まち全体が学びの場」をスローガンに、町内外の組織や人をつなぎ、教育で経済・地域活動の発展を目指しています。代表の宮本様、津和野高校魅力化コーディネーターの牛木様、TMC代表の玉木様のお話を伺いながら、皆さまの熱量の高い想いに感動しました。

2部のトークセッションでは、3つのグループに分かれて、参加者の質問にお答えいただきましたが、私の班はTMC玉木様に高校生の居場所についてお話を伺うことができました。空き家を高校生たちも手

伝いながら改修して2021年にオープン。「つわの力レッジ」などの学びの拠点となっています。

江府拠点でも幅広い人たちが集まる場所づくりをしていきたいと思っています。



防災コラム「備えあれば憂いなし」Vol.9
『地震に対する日常の備え』について

今年も残すところあと少しとなり、1年前に発生した能登半島地震の記憶と教訓が思い起こされます。地震が発生した時、被害を最小限におさえるには、一人ひとりが冷静かつ適切に行動することが重要です。日頃から地震に備え、自分の身の安全確保や持出品などについて家庭で以下の取組みを進めていくことが大切です。

1、家庭での防災会議

地震の時には自分の身の安全確保を第一に考え、日頃から話し合い、情報を共有しましょう。

【ポイント】

- ・家の中でどこが一番安全か？
- ・避難場所・非常用持出品
- ・耐震化
- ・家具の転倒防止などについて確認する。

2、家族との連絡方法の確認

家族が離ればなれ被災した時のことを考えて、お互いの安否の確認手段を考えておきましょう。

【ポイント】

NTTの「災害用伝言ダイヤル171」や携帯電話の「災害用伝言版」などの使い方を家族みんなで覚えましょう。

3、備蓄品・非常持出品の備え

数日間生活できるだけの水や食料品などの備蓄品と、避難する際に持ち出す「非常持出品」を常備しておきましょう。

【ポイント】 飲料水や食料品などは、最低3日間生活で使えるだけのものを準備し、非常持出品とともにすぐ持ち出せるようにしておきましょう。

4、防災活動への参加

地震発生時に、初期消火や救出活動を行うには、日頃からの訓練が欠かせません。地域の防災活動に積極的に参加しましょう。

【ポイント】

普段からの地域の活動に参加することとが、自分自身の防災・減災対策となる。

毎年この時期になると『今年の漢字』が発表されます。地震の『震』が予想されますがさてどうだったでしょうか。



日野郡の最高学府として、地域と連携・協働した教育活動を推進する「日野高校」。町では日野高校魅力向上推進協議会の一員として、「日野高校」の地域活動の取り組みを「日野高ニュース」として紹介していきます。

台湾研修旅行

10月31日(木)から6日間、2年次生ビジネス系列・アグリライフ系列の9名が台湾で研修を行いました。台風で飛行機の欠航が心配されましたが無事到着。2日目から台中市にあるセントラルキッチンでの製造実習、高級スーパー裕毛屋で販売実習。4日目は、日野郡3町トップセールスとして生産者の方々と江府町「奥大山水洗ひ珈琲」、日野町「乾燥シイタケ しいたろう」、日南町「トマトジュース」を販売しました。貴重な体験を支援いただいた株式会社裕源、県交流推進課、日野郡3町、参加生徒保護者の皆様に心より感謝します。



気をつけよう
消費者トラブル

海産物の購入を強引に勧める電話に注意！
～断ったのに届いた時は受取り拒否～

相談事例

海産物販売店から、以前購入していただいた方に案内をしていると電話がありました。この店から買ったかどうか不明だったので、「わからない」と言いましたが、「日本の海産物が売れなくて困っている。キャンペーンで3万円のセットを半額の1万5千円にする」と言われ、「いらない」と言いましたが、「送ります」と言われ電話が切れた。届いた場合、どうしたらいいのでしょうか？

アドバイス

- *はっきり断っているのに商品が届いた場合、受取り拒否をしましょう。
- 強引に勧められても不要の場合は、はっきりと断りましょう。
- 断ったのに、一方的に代引き配達で届いたら、業者名、住所、電話番号を控えて、受取り拒否をしましょう。
- 電話で勧誘され契約した場合、クーリング・オフができます。
- 留守番電話や電話番号表示サービスの利用をして、知らない人からの電話にはでない、という方法もあります。

- 消費生活相談員による相談窓口
令和7年1月15日(水) 午前9時～午後4時 (毎月第3水曜日)
場所: 江府町役場本庁舎1階相談室
※日野郡3町は、第1～第3水曜日に輪番で相談員が対応します。
- 通常の相談窓口
平日: 江府町役場住民生活課(電話: 0859-75-3223)
土日: 消費者ホットライン「188」(案内に従い、お住まいの郵便番号を押すとお近くの相談窓口につながります)

【消費者ホットライン】**188**
局番なしのいやや

口座振替のお願いについて

現金納付の江府町の税金は全て、口座振替に変更をすることができます。口座振替は納付の手間がなく、納付忘れを防ぐこともできます。ぜひ、口座振替をご利用ください。口座振替の申し込みは、ご本人様が直接、金融機関窓口にてお願いします。口座振替ができる金融機関は、**山陰合同銀行・鳥取西部農協・鳥取銀行・ゆうちょ銀行**ですので、お早めのお手続きをお願いします。ご不明な点がありましたら、役場住民生活課にご相談ください。

今月の国民年金

納付期限 12月分 令和7年1月31日(月)まで

令和6年4月から令和7年3月までの国民年金保険料は、月額16,980円です。保険料は日本年金機構から送られる納付書により、金融機関や郵便局、コンビニで納めることができます。ほか、口座振替やクレジットカードによる納付なども可能です。保険料は納付期限(翌月末)までに納めましょう！

【問い合わせ】

江府町役場住民生活課 電話: 0859-75-3223
米子年金事務所 電話: 0859-34-6111

今月の税金

・国民健康保険税、介護保険料(7期)
町県民税(4期)、後期高齢者医療保険料(6期)
納付期限および口座振替は令和6年12月25日(水)です。

■まちの人口	2,478 人(-10)
男	1,160 人(-4)
女	1,318 人(-5)
■世帯数	996 世帯(-4)
令和6年12月1日現在()は前月比	

応援ありがとうございます！

ふるさと納税

令和6年
11月30日
現在

延申込件数 18,524件
(前月比2,981件)

延寄付金額 340,941,100円
(前月比66,883,000円)

個人情報保護の観点から

令和5年10月号より掲載を取りやめています。

人の動き

12月

= 愛ベルこうふ（防災情報センター）
 = 江府町役場本庁舎
 = 人権文化センター
 = 江尾診療所
 = せせらぎ公園

月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT	日 SUN
23 大河原線 俣野線 図書館 休館日	24 まちかど図書館 午前12時～ 午後13時30分 	25 大河原線 御机線	26 下蚊屋線 俣野線 図書館 休館日	27 御机線 柿原線 下安井線	28 和紙折り紙 （広域隣保活動） 午後1時30分～ 3時30分 	29 図書館休館日
30 大河原線 俣野線 図書館休館日	31 大晦日					

1月

= 愛ベルこうふ（防災情報センター）
 = 江府町役場本庁舎
 = 人権文化センター
 = 江尾診療所
 = せせらぎ公園

月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT	日 SUN
		1 元旦	2 図書館休館日	3 江府町新春マラソン ※詳しくは、各施設に置いてあるチラシをご覧ください。	4	5
6 大河原線 俣野線 図書館 休館日	7 奥大山江府学園始業式	8 人権・行政相談 午前9時～正午 愛ベルこうふ 電話：75-3110 （開設時のみ）	9 下蚊屋線 俣野線	10 いけばな （公民館講座） 午後7時～8時 まちかど図書館 午前11時～ 午後12時30分 御机線 柿原線 下安井線	11 おはなし会 （図書館） 午前10時30分～11時	12 二十歳を祝う会
13 図書館 休館日	14 まちかど図書館 午前12時～ 午後13時30分 	15 江府町・西ノ島町交歓スキー教室	16 料理教室 （広域隣保活動） 午前10時～正午 明德学園開講	17 フラダンス （公民館講座） 午後2時～3時30分	18	19 人権・同和問題講演会 時間：午後1時30分～ 場所：人権文化センター 講師：内田龍史 （関西大学） ※詳しくは、配布しています チラシをご覧ください。
20 大河原線 俣野線 図書館 休館日	21 下蚊屋線 柿原線 下安井線	22 大河原線 御机線	23 元気クラブ （広域隣保活動） 午前10時～正午	24 まちかど図書館 午前11時～ 午後12時30分	25 ものづくりクラブ （図書館） 午前10時30分～11時 和紙折り紙 （広域隣保活動） 午後1時30分～ 3時30分 	26





編集 サトカン

奥大山パークレンジャーは江府町の国立公園で自然環境を保護するための活動を行っています。

11月活動報告

■ 鏡ヶ成で草寄せを行いました

11/8 鏡ヶ成にて鏡ヶ成保全再生活用協議会主催のもと草寄せの作業を行いました。
これは春に行う野焼きのための準備作業で刈った草を寄せて防火帯を作るというものです。また刈った草の搬出作業も行います。



▲詳しくはこちらから

■ 擬宝珠山のカタクリ保護ロープの撤去をしました

11/11 休暇村奥大山の職員と一緒に、春に擬宝珠山に建てたカタクリ保護ロープを冬に備えて撤去してきました。また撤去と同時に来春カタクリが沢山咲くように草刈りも行いました。撤去作業は地味に大変で段取りを間違えるとまたロープを張るときに大変な目にあります。



■ 大阪自然史サミットに出展しました

11/16-17 大阪自然史博物館にて開催された大阪自然史フェスティバルに出展してきました。125の団体が出展する大規模なイベントです。
当日の総来場者数はなんと22500人。パークレンジャーブースに来た人の数は2600人とんでもない数です。さすが都会だなと思われました！



■ ニホンイタチの解剖を行いました

今年の8月に江尾の農道で死んでいたニホンイタチの解剖を行いました。実は日本にはニホンイタチとチョウセンイタチと2種類のイタチがいます。前者が在来種後者は外来種です。鳥取県ではニホンイタチの報告は2001年以降からはたった1件のみです。そんな貴重なデータを無駄にしないために解剖も行います。



奥大山の旬

いよいよ冬になりました。

冬になれば雪です！雪についた足跡で生き物観察を楽しむ「アニマルトラッキング」という遊びがあります。動物によって足跡の形、歩き方は様々です。是非観察してみてください。

▼足跡



パークレンジャーからのお知らせ

野生動物の情報集めてます。

奥大山パークレンジャーでは、普通種、希少種問わず、江府町に生息する野生動物の情報を集めています。

情報をご提供いただける方はこちらまでご連絡ください。

TEL 0859-77-2828

Mail okudaisen.park@gmail.com

わたしの「夢」

世界中に
友達を作りたい

かいばつづか

ゆうと

貝原塚 友翔さん
(奥大山江府学園6年生)

海外へ留学して、世界中に友達を作りたいと思っています。小さい頃から両親がアメリカへ留学していた話を聞いた時に、海外への興味がどんどん膨らんでいきました。日本だけでなく、いろいろな国に友達ができたら、その国の文化や歴史、考え方などを直接教えてもらうことができ、きっととても楽しいと思います。7年生から参加できる海外派遣事業で、ニュージーランドへ体験学習に行きたいと考えています。言葉や文化の違いを学びながら、現地の友達とも仲良くなれたらうれしいです。

COVER 表紙の写真



11月12日に子供の国保育園の庭園で、子供たちが集めた落ち葉で焼き芋をしました。女の子も、出来立ての焼き芋を一口食べて、この笑顔！「甘くてホクホク！おかわりしたい！」と大満足の様子でした。

2024年町報こうふ 11月号 2ページ8行目の介護老人保健施設あやめについて、下記のとおり文章に誤りがありました。大変申し訳ございませんでした。

（誤）通所リハビリテーションに通われている方が約30名おられます。

（正）通所リハビリテーションに通われている方が1日に約30名おられます。

発行／江府町役場 〒689-4401 鳥取県日野郡江府町大字江尾1717番地1 TEL (0859) 75-2211 FAX (0859) 75-2389

編集／総務課 印刷／東京印刷株式会社

町報こうふの最新号やハックナフバーは江府町ホームページで！

江府町

